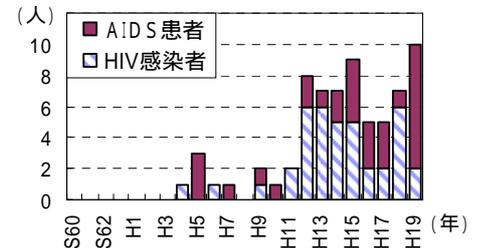


愛媛エイズ予防週間のお知らせ

12月1日～7日は愛媛エイズ予防週間です。県保健所ではこの期間、夜間と休日のエイズ相談・エイズ検査（迅速検査）を実施します。全て、無料、匿名で受けられます。感染不安がある方、エイズについて知りたいことがある方など、お気軽にご利用下さい。実施日時などは各保健所によって異なりますので、最寄りの県保健所へお問い合わせいただくか、[愛媛県保健福祉部ホームページ「エイズ予防週間のお知らせ」](#)をご参照ください。

愛媛県内の後天性免疫不全症候群の報告数は11月中旬までに10件となり、過去最高となりました。県内のエイズ/HIVの発生状況の詳細は次頁に掲載しました。

愛媛県におけるHIV感染者/AIDS患者発生状況



発生動向の概況

冬の感染症が発生してきました。

感染性胃腸炎は四国中央地区及び中予を中心に増加傾向です。例年ノロウイルスによる胃腸炎が年末にかけて急増します。幼児や高齢者などの抵抗力の弱い方が感染すると重症化することがありますので、せっけんを使用した手洗いを徹底し、感染予防に努めましょう。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は今治地区及び中予では減少傾向に転じましたが、西条地区で増加しています。RSウイルス感染症は東中予を中心に散發程度の発生が続いています。水痘は例年どおりの動向で増加してきました。宇和島地区で急増しています。

インフルエンザが松山市で散發程度発生しています。全国的には例年よりも1か月ほど早いペースで増加し、集団がぜも報告されています。県内でもこれから本格的な流行シーズンを迎えますので、早めに予防接種を受けましょう。また、咳、くしゃみをする時は鼻や口をハンカチやティッシュで押さえるなどの『咳エチケット』を守りましょう。

県内での感染症発生状況

全数把握感染症（結核は除く）

三類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 2例 (O157)

四類感染症：日本紅斑熱 1例

五類感染症：後天性免疫不全症候群 1例 (AIDS) ...平成19年 累計10例

50歳代男性、推定感染経路：異性間性的接触、推定感染地域：国内

定点把握感染症（数字は最新週の定点当たり報告数、発生地区は保健所名を記載）

	愛媛県推移	県内の傾向
RSウイルス感染症	➡ 0.2	東中予を中心に散發程度の発生が続いている。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡ 1.6	今治地区及び中予は減少傾向に転じたが、西条地区で増加してきた。
感染性胃腸炎	➡ 6.0	四国中央地区及び中予を中心に増加傾向。
水痘	➡ 1.9	県内全域で増加してきた。宇和島地区で急増。

解析評価委員のコメントから

インフルエンザ：松山市内で数例報告がありました。迅速検査の結果、A、B両方でています。（中予）

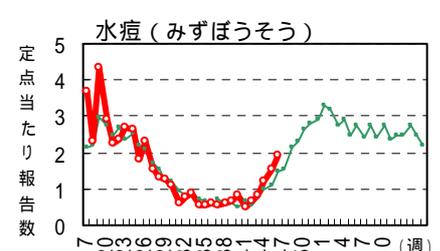
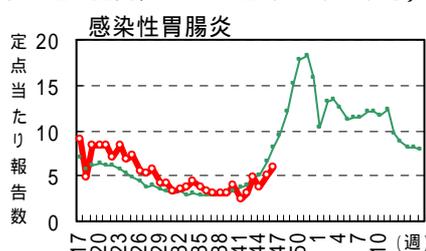
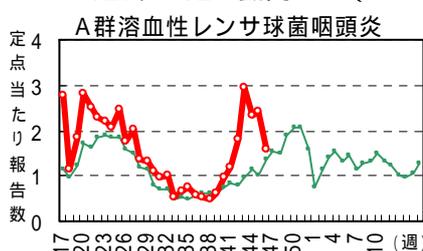
RSウイルス感染症：増加しています。乳児では入院を要する例が少なくありません。（中予）

感染性胃腸炎：増加してきました。比較的軽症例が多いようです。（中予）

水痘：例年通りの動きで県下全体で増加傾向にありますが、中でも南予地区ではその傾向が顕著です。（南予）

マイコプラズマ肺炎：肺炎までいなくてもマイコプラズマ感染は成人も増えてきています。（東予）

過去30週の動向（—○—：過去30週の動向、—●—：過去10年の平均）



(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。

感染症情報に関するご意見、ご質問は eikanken@pref.ehime.jp までお願い致します。

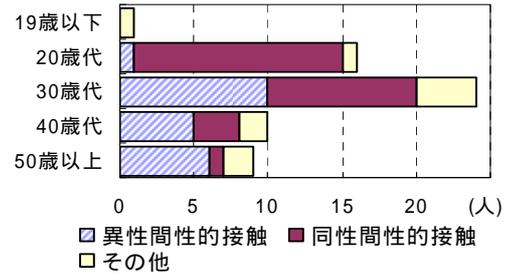
平成 19 年 11 月 21 日現在

後天性免疫不全症候群（エイズ AIDS）が増加中！

全国の HIV 感染者及び AIDS 患者の年間報告数は増加しており、県内でも平成 19 年は 10 人と過去最高となりました。平成 11 年 4 月感染症法施行後に届出があった 60 人のうち 88%が男性で、年齢区分は 20～30 歳代が 68%と多く、性的接触による感染が 83%（同性間 56%、異性間 44%）を占めていました。

エイズは決して他人事ではありません。『大切な人を守るために』、ひとりひとりがエイズを正しく理解し、感染予防を心がけましょう。

愛媛県内 HIV 感染者 / AIDS 患者の年齢区分別報告数と感染経路 (N=60)



病原体検出情報

急性気道感染症の検体が増加しています。RS 感染症は引き続き多い状況で、43・45 週の上気道炎・熱性疾患から RS ウイルスが検出されています。A 群溶レン菌咽頭炎は減少傾向がみられますが、46 週の患者検体から A 群溶レン菌が検出されています。百日咳患者発生も少し落ち着いてきたものの、45 週の検体 5 件中 1 例、46 週 2 件中 1 例から百日咳菌の遺伝子が検出されています。11 月に入ってからは、インフルエンザを対象とした培養検査も行っていますが、まだウイルスは分離されていません。

感染性胃腸炎は、昨シーズンのように急激ではありませんが、徐々に患者数が増加傾向となり、流行期に入ったようです。しかし、県内ではまだノロウイルス (NV) の検出はみられず、アストロウイルス (松山市) が、46 週にはサボウイルス (SV) (松山市) が検出されています。全国的にも、例年になく 43 週頃から SV の検出報告が増加し、NV に次いで多く報告されています。今後、県内でも NV の流行が始まれば、患者数がさらに増加すると予測されます。

過去 5 週 検出病原体

(10 月 15 日以降採取検体)

週	期間	発生地区	臨床診断名	検出病原体	検体	例数
42	10/15～10/21	西条	手足口病	コクサッキーA16	咽頭ぬぐい液	1
			溶レン菌咽頭炎	A群溶レン菌	咽頭ぬぐい液	1
		松山市	下気道炎	RS	咽頭ぬぐい液	2
			不明熱	コクサッキーA3	咽頭ぬぐい液	1
43	10/22～10/28	松山市	上気道炎	RS	咽頭ぬぐい液	1
			不明熱	RS	咽頭ぬぐい液	1
45	11/5～11/11	松山市	感染性胃腸炎	アストロ	糞便	1
			不明熱	RS	咽頭ぬぐい液	2
		宇和島	百日咳	百日咳菌(遺伝子検査)	鼻咽頭ぬぐい液	1
46	11/12～11/18	松山市	溶レン菌咽頭炎	A群溶レン菌	咽頭ぬぐい液	1
			感染性胃腸炎	サボ	糞便	1
		宇和島	百日咳	百日咳菌(遺伝子検査)	鼻咽頭ぬぐい液	1

月別病原体検出結果

検出病原体	2007						合計
	6	7	8	9	10	11	
ウイルス	コクサッキーA2			1			1
	コクサッキーA3					1	1
	コクサッキーA5	1	7				8
	コクサッキーA6	1	2	2	1		6
	コクサッキーA9		3	1			4
	コクサッキーA10			1			1
	コクサッキーA16			2		4	6
	コクサッキーB2				1	1	2
	コクサッキーB4		1			1	2
	エコー 18		1				1
	ポリオ 2				1		1
	エンテロ 71				1		1
	インフルAソ連	1					1
	インフルA香港	1					1
	インフルB	1					1
	パラインフル3	1	1				2
	RS					4	2
	ムンプス		3	1			4
	ロタ	1					1
	アストロ						1
ノロ	1	4				5	
サボ	5	3				9	
アデノ	1		2			3	
アデノ 1			1			1	
アデノ 2	5	1	2			8	
アデノ 6				1		1	
単純ヘルペス 1					1	1	
ウイルス計	19	26	13	5	12	4	79
細菌	サルモネラ O4			1			1
	サルモネラ O9			1			1
	カンピロバクター		2				2
	A群溶レン菌	3	1	1	1	1	8
	G群溶レン菌			1			1
	百日咳菌				5	2	2
細菌計	3	3	4	6	3	3	22

臨床診断名別検出結果 (2007 年 9 月以降採取検体)

検出病原体	溶レン菌咽頭炎	感染性胃腸炎	手足口病	百日咳	下気道炎	上気道炎	不明熱	合計
コクサッキーA3							1	1
コクサッキーA6			1					1
コクサッキーA16			3				1	4
コクサッキーB2					2			2
コクサッキーB4							1	1
ポリオ 2					1			1
エンテロ 71			1					1
RS					2	1	3	6
アストロ		1						1
サボ		1						1
アデノ 6					1			1
単純ヘルペス 1							1	1
ウイルス計		2	5		6	1	7	21
A群溶レン菌	3							3
百日咳菌				9				9
細菌計	3			9				12

愛媛県 定点把握五類感染症 2007年 第46週 (2007.11.12～11.18)

患者報告数	インフルエンザ	小児科定点											眼科定点		基幹定点					成人麻しん	
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎
四国中央		1			30	2	1	3					1	-	-						四国中央
西条		3	1	13	38	12	7	3	11												西条
今治				5	10	7			5						2						今治
松山市	1	3	1	25	105	19	5	13			1	1	1	5	-	-	-	-	-		松山市
松山		1		10	16	4	3	2			1										松山
八幡浜				2	20	9		4					7	2							八幡浜
宇和島			1	4	4	19	2	2													宇和島
愛媛県	1	8	3	59	223	72	18	3	40		2	9	1	9							愛媛県
1週前	1	3	4	89	191	56	22	7	30		6	5		13			1				1週前
2週前		4	1	86	137	44	14	2	28	2	7	6		17							2週前
3週前		7	2	109	175	30	19	3	30		4	8		15				1			3週前
0-5ヶ月		3			5	1	2		1												0
6-11ヶ月					14	4	3		25												1-4
1		3		1	21	17	3		13												5-9
2		2	2		33	15	4		1		1										10-14
3			1	3	29	9	4	1			1		1								15-19
4				8	22	12	1	1					1								20-24
5				11	27	5							2	1							25-29
6				8	15	5							1								30-34
7				5	17	1	1														35-39
8				5	6	1		1					1								40-44
9				3	4	2							2								45-49
10-14	1			10	25								1								50-54
15-19				2	1																55-59
20-29 ⁵⁾				3	4									1							60-64
30-39														2							65-69
40-49													1	1							70-
50-59														1							
60-69														1							
70-79 ⁶⁾														2							
80-														2							

定点当たり報告数

四国中央		.3			10.0	.7	.3	1.0				.3	-	-							四国中央
西条		.5	.2	2.2	6.3	2.0	1.2	.5	1.8												西条
今治				1.0	2.0	1.4			1.0					2.0							今治
松山市	.1	.3	.1	2.3	9.5	1.7	.5	1.2			.1	.1	.3	1.7	-	-	-	-	-		松山市
松山		.3		2.5	4.0	1.0	.8	.5			.3										松山
八幡浜				.5	5.0	2.3		1.0					1.8	2.0							八幡浜
宇和島			.3	1.0	1.0	4.8	.5	.5													宇和島
愛媛県	.0	.2	.1	1.6	6.0	1.9	.5	1.1			.1	.2	.1	1.1							愛媛県

- 1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病を除く。
 5) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。 6) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。

(参考) 保健所別定点数

定 点	数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	松 山	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7	7
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4	4
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1	1

注) 表中の報告数は11月21日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

愛媛県 定点把握五類感染症 2007年 第45週 (2007.11.5 ~ 11.11)

患者報告数	インフルエンザ	小児科定点											眼科定点		基幹定点					成人麻しん	
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎
四国中央					28	1		2						-	-						四国中央
西条	1			11	38	16		4				1									西条
今治				20	15	5	3	8				2	1		7			1			今治
松山市	1	1		42	73	15	13	10				3	1		5	-	-	-	-	-	松山市
松山				10	14	1	6	2													松山
八幡浜		1		4	21	12		1					1		1						八幡浜
宇和島			4	2	2	6		3					2								宇和島
愛媛県	1	3	4	89	191	56	22	7	30			6	5		13			1			愛媛県
1週前		4	1	86	137	44	14	2	28	2		7	6		17						1週前
2週前		7	2	109	175	30	19	3	30			4	8		15			1			2週前
3週前		5	1	66	110	25	28	6	34	1		10	1	5	8			5			3週前
0-5ヶ月		1			1	1															0
6-11ヶ月		1			11	2	2		16			1			1						1-4
1		1	3	2	19	9	5	1	14			3						1			5-9
2				2	28	8	3					1			1						10-14
3	1		1	6	24	10	4														15-19
4				13	16	17	4					1	1								20-24
5				10	21	5	1														25-29
6				18	13	2	3						1								30-34
7				6	12	2		2						2							35-39
8				7	9			3						2							40-44
9				4	10									1							45-49
10-14				12	23			1													50-54
15-19				6	1																55-59
20-29 ⁵⁾				3	3										2						60-64
30-39															4						65-69
40-49															2						70-
50-59																					
60-69															1						
70-79 ⁶⁾																					
80-																					

定点当たり報告数

四国中央				9.3	.3		.7							-	-						四国中央
西条	.2		1.8	6.3	2.7		1.0	.7				.2									西条
今治			4.0	3.0	1.0	.6	1.6					.4	.2		7.0			1.0			今治
松山市	.1	.1	3.8	6.6	1.4	1.2	.9					.3	.1		1.7	-	-	-	-	-	松山市
松山			2.5	3.5	.3	1.5	.5														松山
八幡浜		.3	1.0	5.3	3.0		.3						.3		1.0						八幡浜
宇和島			1.0	.5	.5	1.5	.3	.8					.5								宇和島
愛媛県	.0	.1	.1	2.4	5.2	1.5	.6	.2	.8			.2	.1		1.6			.2			愛媛県

- 1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病を除く。
 5) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。 6) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	松 山	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は11月14日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

全国 定点把握感染症 第44、45週 (2007.10.29 ~ 11.11)

(定点当たり報告数)

	1)	小児科定点											眼科定点		基幹定点							
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん ²⁾	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 ³⁾	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 ⁴⁾	成人麻しん	
44週	愛媛県	.1	.0	2.3	3.7	1.2	.4	.1	.8	.1	.2	.2	.2	.2	2.1							
	近畿県																					
	香川県	.1	.8	.5	4.7	.3	.2	.1	.4		.3		.3									
	徳島県		1.3	.0	1.0	2.4	.7	.1	.0	.4	.0	.0			.5							
	高知県		.1	.3	.5	3.7	.4	.7	.1	.4		.3		.4	.7				.3			
	全国	.3	.2	.1	1.2	4.2	.8	.4	.1	.6	.0	.0	.2	.0	.3	.0	.6	.0	.0	.4	.0	.0
	北海道	.9	.2	.2	2.0	4.2	1.4	.4	.1	.4	.1	.0	.4	.0	.1	.0	.2			.2		
	東北	.0	.2	.1	1.4	4.3	1.4	1.0	.2	.7	.0	.0	.2	.0	.4		.5	.0	1.0	.0	.0	
	関東	.4	.2	.1	1.4	3.5	.7	.4	.1	.6	.0	.0	.2	.0	.2	.0	.7	.0	.1	.3	.0	.0
	甲信越北陸	.1	.1	.1	1.4	3.2	1.1	.2	.2	.6	.0		.1	.0	.3		.3			.4	.2	
東海	.1	.1	.1	1.0	2.9	.6	.3	.0	.7	.0		.2	.0	.3		.2		.0	.2	.0		
近畿	.2	.3	.1	1.0	4.0	.7	.2	.1	.5	.0		.1	.0	.3	.0	.4	.0	.1	.2			
中国四国	.1	.3	.1	1.1	5.1	.7	.4	.1	.6	.0	.0	.2		.2	.0	.8		.1	.1	.0	.0	
九州沖縄	.3	.5	.2	.8	7.0	.7	.7	.1	.7	.0		.1	.0	.3	.1	.9	.0	.0	.3		.0	

(2007.11.7集計)

45週	愛媛県	.0	.1	.1	2.4	5.2	1.5	.6	.2	.8		.2		.1		1.6			.2			
	近畿県																					
	香川県		.8		.3	9.0	.6	.4	.1	.5		.2		.1		.7						
	徳島県		.0	.7	.3	.7	3.4	1.0	.1	.0	.6	.0	.0		.1							
	高知県		.2	.1	.7	4.1	1.3	1.9	.4	.4		.0		.4		.7			.4			
	全国	.5	.3	.2	1.5	5.7	1.0	.5	.2	.7	.0	.0	.2	.0	.3	.0	.7	.0	.0	.4	.0	.0
	北海道	3.6	.3	.2	2.3	5.2	1.3	.3	.2	.4			.3	.1	.1		.3			.0		
	東北	.1	.3	.2	1.9	5.1	1.3	1.1	.3	.6	.0		.3	.1	.4	.0	.6	.0		.9	.1	
	関東	.6	.2	.1	1.7	4.7	.9	.4	.1	.7	.0	.0	.2	.0	.3	.0	.8	.0	.0	.4	.0	.0
	甲信越北陸	.3	.1	.3	1.8	4.9	1.8	.3	.3	.6	.0		.1		.5		.3	.0	.1	.5	.1	
東海	.2	.2	.1	1.1	4.0	.7	.4	.1	.8	.0		.2		.4		.4	.1	.0	.4	.1	.0	
近畿	.3	.4	.1	1.2	5.5	.7	.3	.1	.6	.0		.1	.0	.3	.0	.4	.0	.0	.3			
中国四国	.2	.2	.2	1.3	6.7	1.0	.6	.1	.6	.0	.0	.1		.2	.0	.9	.0	.1	.3	.0	.0	
九州沖縄	.3	.7	.2	1.3	9.6	.8	.9	.1	.8	.0		.1	.0	.4	.1	.9	.0	.0	.3	.0	.0	

(2007.11.14集計)

1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病は除く。

全国 全数把握感染症 第44、45週 (2007.10.29～11.11)

類 型	二類	三類感染症					四類感染症														五類感染症																			
		(2) 結核	(1) コレラ	(2) 細菌性赤痢	(3) 腸管出血性大腸菌感染症	(4) 腸チフス	(5) パラチフス	(1) E型肝炎	(3) A型肝炎	(4) エキノコックス症	(6) オウム病	(10) Q熱	(12) コクシジオイデス症	(18) つつが虫病	(19) デング熱	(23) 日本紅斑熱	(24) 日本脳炎	(28) ブルセラ症	(30) 発疹チフス	(32) ポツリヌス症	(33) マラリア	(35) ライム病	(39) レジオネラ症	(40) レプトスピラ症	(1) アメーバ赤痢	(2) ウイルス性肝炎 (E型及びA型肝炎を除く)	(3) 急性脳炎	(4) クリプトスポリジウム症	(5) クロイツフェルト・ヤコブ病	(6) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7) 後天性免疫不全症候群	(8) ジアルジア症	(9) 髄膜炎菌性髄膜炎	(10) 先天性風しん症候群	(11) 梅毒	(12) 破傷風	(13) ドウ球菌感染症	(14) パンコマイシン耐性腸球菌感染症		
第44・45週報告数	全 国	589		7	124	1	1	2	1		1		10	1	8	3			1	3			26	1	21	7	2		2	2	28	3	1		17	2		4		
	四 国	愛 媛 県	12													1																								
		香 川 県	4			3																																		
		徳 島 県	6																																					
		高 知 県	3			1																																		
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道	19			4																	1		1															
		東 北 道	40			9							2										1		3	1					1					1	1		1	
		関 東 圏	226		6	18	1	1	1	1			6	1							1	1		12		8	2			20	1	1			8				2	
		甲信越北陸	33			11											1					1		3		2									1				1	
		東 海 道	48			11							1		1						1			6		3				1						2				
近 畿 圏		68		1	18			1							1						1		1		3	1	1			3	2			1						
中国四国		50			10								1		2	2										1				2	2				2					
九州沖縄		105			43					1						4							2	1	1	2				1					3					
週 推 移	全 国	45週	297		4	54	1		1				6		4	1			1			11		10	3	1		1	2	11	3	1		9	1			2		
	44週	292		3	70		1	1	1		1		4	1	4	2				3		15	1	11	4	1		1		17				8	1			2		
	43週	281	1	8	102	1	1	1	2				2	2	2	2						9	3	10	2	3		1	1	10	1			5	1					
	42週	223		5	126	1		1	1				1	1	1					1			11		5	2	1		1		12				5	2			1	
2007年累積数	全 国	15578	12	413	4283	43	17	50	132	13	28	4	3	117	81	79	8	1		3	47	10	562	26	670	202	195	6	121	86	1249	48	14		609	83		68		
	四 国	愛 媛 県	219		3	24				1	1												6		4	1	1		6	1	10				6					
		香 川 県	90		3	15				2			3										3		1	2	1		2	1	3				4					
		徳 島 県	129		1	19				1						2								2		3			1	3	1				1				1	
		高 知 県	108			8				1						1									1	5			5	1	5		1		4	1				
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道	451		6	108	1		9	7	10	1										1	3	28		21	5	10		2	6	18				11	5		1	
		東 北 道	817	2	19	508	4	3	4	12		5			44	1	1						2		40		38	11	12		3	6	35		2		26	8		6
		関 東 圏	5545	7	203	1084	16	9	10	41	3	8	1	3	20	43	1					1	28	5	165	6	291	57	59	2	37	29	640	26	5		240	25		33
		甲信越北陸	804		14	351	2	1	3	7		1			9	2						2		59	1	29	12	13	2	10	6	27	2			19	7		6	
		東 海 道	1986		61	300	5		15	14		3			6	6	13					3	1	89	1	73	12	8		13	8	173	3	1		99	5		10	
近 畿 圏		2508	3	69	839	13	3	4	23		5			10	18	15		1			11		77		143	53	48		23	7	222	13	2		54	8		9		
中国四国		1434		30	336	1		3	12		2	3		8	3	21	3				2		54		28	37	14	1	21	15	53	4	1		40	2		2		
九州沖縄		2033		11	757	1	1	2	16		3			20	8	28	3						1	50	18	47	15	31	1	12	9	81		3		120	23		1	

・医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。

・2007年4月からの法改正に伴い、疾病の追加および並び順を一部変更しました。

(2007.11.14集計)